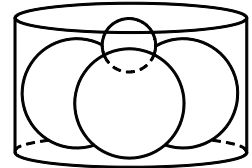


問題

右の図のように、円柱の中で、半径 2cm の球 3 個と半径 1cm の球 1 個が互いに接している。さらに、半径 2cm の球は円柱の底面および側面と接しており、半径 1cm の球は円柱の上面と接している。

このとき、次の問いに答えなさい。ただし、円周率は  $\pi$  とする。

- (1) 円柱の底面積を求めなさい。
- (2) 円柱の高さを求めなさい。



(大阪教育大附高池田)

解

- (1) 半径 2cm の 3 個の球の中心をそれぞれ A, B, C とする。3 点 A, B, C を通る平面でこの円柱を切断すると、切断面は右の図のような円となる。円の中心を O とすると、

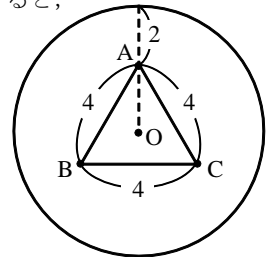
求める面積は、円 O の面積と一致する。「塾技 59 3」より、

$$AO = 2\sqrt{3} \times \frac{2}{3} = \frac{4\sqrt{3}}{3} \text{ (cm)}$$

よって、円 O の半径は、 $\left(2 + \frac{4\sqrt{3}}{3}\right)$  cm とわかるので、

$$\begin{aligned} \text{求める面積} &= \pi \left(2 + \frac{4\sqrt{3}}{3}\right)^2 \\ &= \pi \left(4 + \frac{16\sqrt{3}}{3} + \frac{48}{9}\right) \\ &= \frac{16\sqrt{3} + 84}{3} \pi = \frac{16\sqrt{3} + 28}{3} \pi \end{aligned}$$

答  $\frac{16\sqrt{3} + 28}{3} \pi \text{ cm}^2$



- (2) 「塾技 91 (3)」の図で、正四面体を正三角錐に、上側の  $r$  を 1cm, 下側の 3 本の  $r$  を 2cm と考えればよい。半径 1cm の球の中心を D とすると、正三角錐の高さ OD は、

$$\begin{aligned} OD &= \sqrt{DA^2 - AO^2} \\ &= \sqrt{3^2 - \left(\frac{4\sqrt{3}}{3}\right)^2} \\ &= \frac{\sqrt{33}}{3} \text{ (cm)} \end{aligned}$$

以上より、求める円柱の高さは、

$$2 + \frac{\sqrt{33}}{3} + 1 = \frac{9 + \sqrt{33}}{3} \text{ (cm)}$$

答  $\frac{9 + \sqrt{33}}{3} \text{ cm}$

